

昨年好評だった、七夕和紙の小物制作体験イベントを今年も実施。

たなばたくらふと



老若男女問わず、オリジナリティーあふれる作品を楽しく制作していた。

七夕飾りバンク

中心部商店街以外の企業・団体等から協力を募り、15カ所に飾りを掲出した。

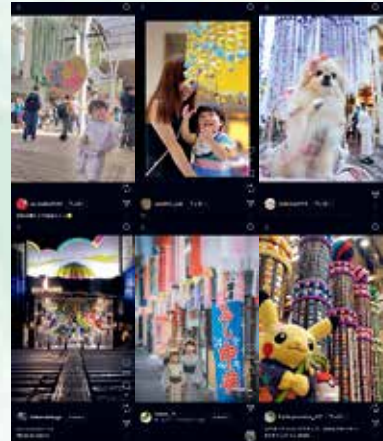


デジタルスタンプラリー



今年初開催のデジタルスタンプラリー。抽選会場では、参加者たちがお目当ての景品を目指して家族や友人らとくじを引いて盛り上がる場面が見られた。

七夕シェアコレ 2025



Instagramを活用した投稿キャンペーン「七夕シェアコレ2025」を昨年に引き続き開催。すてきな写真がたくさん投稿された。

T-1グランプリ



中心部商店街の金賞を受賞した飾りからグランプリを選ぶ、来場者参加型のコンテスト。今年はムツミヤ(写真右)が2年連続でグランプリを受賞。準グランプリは阿部蒲鉾店(写真左)。受賞した2社には記念トロフィーが送られた。



中心部商店街



クリスロード商店街振興組合



一番町四丁目商店街振興組合



おおまち商店街振興組合



一番町一番街商店街振興組合



名掛丁商店街振興組合



サンモール一番町商店街振興組合

中心部商店街は、国内外からのたくさんの観光客が行き交い、まちを彩る七夕飾りを見物していた。日が落ちた後も人足が途切れず、猛暑を避けて来場する姿も多く見られた。

周辺地域商店街



春日町商店会



荒町商店街振興組合



根白石商店会



サンカトゥール商店街振興組合



宮町商店街振興組合



仙台朝市商店街振興組合



原町本通商工親睦会



八木山駅前商店会

周辺地域商店街を含めて市内各所で飾りの掲出が行われた。商店街や地域の人々が工夫を凝らして手作りした色とりどりの七夕飾りが訪れる人の目を楽しませた。

8月6・7・8日 仙台七夕まつり開催！

「仙台七夕まつり」が、8月6日(水)・7日(木)・8日(金)の3日間、開催されました。昨年同様、全日程が平日開催となった今回は、初日から雨天に見舞われましたが、昨年よりも7万人以上多い、210万人超の方々が来仙。連日続く暑さにも負けず、趣向の凝らされた豪華絢爛な七夕飾りを楽しんでいました。

せんだい・杜の都親善大使



期間中、せんだい・杜の都親善大使は各地の案内所などを訪れ、祭りの魅力を観光客に広くアピールした。

各地では雨天により、飾りがカバーで覆われる場面も(右：一番町四丁目商店街振興組合、左：原町東部商工会)。



観光案内所



案内所では、高校生ボランティアなどによる観光案内を実施。併設した短冊記入コーナーでは、訪れた人々が思い思いに願い事を書き込んでいた。

七夕サポーター

協賛会スタッフなどを各商店街に派遣し、祭りの運営を支援した。



児童生徒による七夕飾り

仙台市内の児童生徒が復興への祈りを込め作成した、折り鶴78,000羽の吹き流し。復興の祈りを込め、震災後から始まったこのプロジェクトは今年で15回目となった。



おまつり広場



今年は勾当台公園を会場におまつり広場を開催。屋台や子どもが楽しめる縁日ブースが立ち並び、祭りをにぎわせた。

仙台七夕ナイトフェス



仙台七夕花火祭では、初のドローン飛行も実施(右写真)。「輪・和・笑」をテーマに、大輪の花火が打ち上げられた(8月5日)。



祭り開催に合わせ、青葉山全体を会場として、瑞鳳殿や仙臺緑彩館などで、ステージイベントやライトアップ等が実施された。

